

令和6年度 重要な取組及び主な取組（案）

資料3

■重要な取組				
No	戦略分類	施策	所管	計画概要
1	基本戦略 (サステイナブル戦略)	①持続可能な取組につながるコンテンツの開発 (リジェネラティブツーリズムを含む)	観光協会	島内におけるSDGsコンテンツとして仕上げたものをより魅力あるコンテンツとして磨き上げを行い、観光協会HPオンライン予約ページに掲載し販売する。
			南あわじ市	3海峡クリーンアップ大作戦等の清掃活動に観光客が参加できるよう働きかける
		②あわじ環境未来島体験ツアーの企画・実施	県民局	あわじ環境未来島構想を推進する取り組みの中で、観光商品にふさわしいコンテンツを抽出する。
2	推進戦略1 (物語化)	国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーをコンテンツとして作り込み、磨き上げ	観光協会	県民局・3市の協力のもと、淡路島日本遺産委員会・観光協会を中心として、ストーリーづくり、観光プログラムの造成、情報発信を行う。
3		地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさ等を現地で体感できる観光コンテンツの造成	観光協会	・地場産業においては、本物見学・体験・試食等を組み合わせコンテンツのブラッシュアップ、ガイドの高度化を実現する。 ・農水産業においては、地産地消にこだわったBBQ・イートイン設置等を含む食事提供の拡販の実現に取り組む。
4		ストーリーテラーとしてのガイドの養成とガイドを活用したプログラムの開発	観光協会	3市との情報交換を実施し、目指すべきガイド育成の方向性を共有するとともに、効果的な育成を目指す。
5		「ひょうごフィールドバビリオン」や「特別感のあるプログラムの開発」などによるインバウンドの高付加価値化への対応	観光協会	食・農・自然・文化なりわい等を「淡路ならではの」、特別感をコンセプトにした着地型観光商品として磨きあげ、活用できる体制の整備する。また、生産者等現地の生活者との橋渡しやコーディネートのできる人材を育成する。
6		AWAJI島博の実現に向けた取組の推進	観光協会	啓発資材を活用したPR、デジタルスタンプラリー・サブスク型クーポンの実施、淡路島ならではのコンテンツ造成を行う。
7	推進戦略3 (アメニティ戦略)	新幹線・飛行機（関西3空港、徳島空港）・高速バスとレンタカー又はカーシェアリングとの活用促進、高速バス・路線バス・コミュニティバス間の接続性向上	観光協会	・淡路島発着バス検索アプリ全島版「busmo」等のQRコードを、観光案内所、バス(船)の切符売場、停留所、待合所、バス(船)内及び座席へ貼付するなど、各種PRを依頼する。 ・AWAJI島博に照準を合わせ、観光周遊シャトルバスの運行提案し、協議を進める。 ・徳島空港を活用した淡路島への旅行等を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、各社のHPや旅行雑誌等での淡路島特集を展開する。
		公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	県民局	・交通関連事業者が取り組む高速舞子バスタップの改修を支援する。 ・淡路島発着バス検索サイト「バスモ」を多言語化(英語)し、日本語以外でも検索可能となるようサイトの改良を支援する。
8		観光客目線での景観の再構築(おもてなし看板の設置や島内観光案内看板の統一、淡路島の玄関口の環境整備、街路樹の整備、観光地の環境美化)	観光協会	AWAJI島博の開催に向け、実現可能な対策を探る。
9	推進戦略4 (情報戦略)	島外進出企業との情報交換会の開催	観光協会	島外進出企業と意見交換を行う機会を設け、意見を観光戦略に反映させる。
			県民局	ホテルと飲食店が情報共有できる仕組みづくりの推進に取り組む。ホテル側への誘客につながる地域情報の提供を継続する。
10	推進体制と検証体制の確立	日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用した目標設定と推進	県民局	JSTS-Dのうちから淡路島総合観光戦略の推進に喫緊なガイドライン項目を抽出した項目をアクションプランごとに対応させ、取組の評価を行い、次年度の施策の立案に活用する。

■主な取組

No	戦略分類	施策	所管	計画概要
11	基本戦略 (サステイナブル戦略)	観光及び観光産業に対する島民の理解促進意見交換会等の実施	県民局	島民の観光に対する理解を深めるため、観光戦略の周知を図るとともに、各種団体の総会や研修会の機会を活用して観光戦略の普及啓発や意見交換を行う。
12		サイクリストの走行環境整備	県民局	アンケートサイトから得た利用状況（利用ニーズ）により、整備が必要な箇所等の抽出を行い、サイクリストに配慮した走行環境整備を効果的に実施する。
13		シンボルイベントの開催		淡路島ロングライド150の代替イベントを検討中
14		淡路地域サイクルツーリズムの推進 (他地域との連携)	洲本市	「アワイチ推進プログラム50（R1～5）」に基づく走行環境・受入環境の整備や、情報発信を実施する。
15		大浜公園の利用促進		海水浴シーズン以外での公園利用を促進するため民間活力を生かしたイベント等を誘致する。
16	推進戦略2 (高付加価値化)	新たな誘客ルートを確保	洲本市	継続して淡路島に寄港して頂くための交渉を行う。
17		鳴門海峡エリアの観光ブランディング事業	南あわじ市	鳴門市と連携して作成したHP「うずしおぐるぐる」による情報発信、うずの幸グルメ等の開発及び自走組織の支援を予定。
18		多言語対応できる、ガイド・コーディネーターの養成	観光協会	淡路島認定ガイドの育成を行う。
19		徳島空港+レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	南あわじ市	引き続き航空会社、旅行会社、OTAに働きかけ、各社のウェブサイトでの淡路島特集の紹介や雑誌への広告宣伝を進めるとともに、徳島空港と南あわじ市内を結ぶ運航バスと連携し、南あわじ市と共同でPRを行う。
20		世界的観光立島・淡路市事業（はじまりの島あわぢカラ フェスティバル（淡路市マスコットキャラクターイベント事業））	淡路市	2025大阪・関西万博の機運醸成と淡路市マスコットキャラクターの「あわ神」、「あわ姫」の知名度向上及び本市の歴史・文化を同時に情報発信することで、淡路市の底力（アワヂカラ）を広く市内外へPRする。
21	推進体制と検証体制の確立	観光協会ツアーの実施（自主財源確保対策）	観光協会	淡路島観光協会ツーリストとして、募集型企画旅行を企画・造成し、観光協会HPで販売する。